

# 校長室便り

(文責)

ドーハ  
日本人学校校長  
酢谷昌義

みんな汗びっしょりで遊びました

## みんなで楽しんだ「遠足」

昨日は好天に恵まれ、みんなが楽しみにしていた遠足に出かけてきました。初めに奇岩群の見学と化石取りを行いました。午前中とはいえバスを降りてしばらく活動していると、すぐに汗が出てくるほどの天気でした。少し前は砂嵐がひどく、その後も風が強い日が続いていたのでずいぶん天候（風）の心配をしていましたが、この時期にしては良すぎるくらいの天気でした。

私は何度も奇岩群を見ますが、見るたびに自然の力のすごさを感じます。子ども達もずいぶん驚きを感じたようでした。それ以上に熱中していたのは化石取りです。みんなほとんどの時間を、下を向いて一生懸命化石を探すことに費やしていました。大きな貝の化石はなかなか見つけられませんでした。小さな巻貝や二枚貝の化石はかなりの数ありました。大きな石（化石の部分は小さくても）を袋に入れて、重そうにバスに運んでいる姿がとても

印象的でした。

奇岩群を間近で見るために、斜面を登っていく場面が何度もありました。その姿を見て、こういうことを経験する大切さを考えさせられました。なぜかと言うと、そういう場でのあまりに慣れない歩き方が目についたからです。

滑りやすいところを歩くときにはどうするのか、どこを歩くとより安全に歩けるのか、こういうことは実際に経験してみなければ分かりません。滑りやすそうなところや、歩きにくいところを選んで歩いているような子ども達が大勢いて、本当にひやひやする場面もありました。もちろん事故を起こさせてはなりませんから、場面に応じて声をかけたり手を差し伸べたりしましたが、自然の中で安全に行動

するにはどうすべきなのかという訓練の場にもなっていたのではないかと思います。

心配した事故や怪我もなく、みんなが満足そうにバスに乗り込んでいくのを見て、ほっとしたのは私1人ではなかったようです。

その後アスパイアへ移動し昼食をとった後は、みんなでゲームをして楽しみました。執行部が準備していたのは「しっぽ取り」と「ケイドロ」という遊びで、みんな汗びっしょりという状況でした。2つのゲームで息が上がるほどでしたが、青空の下で思い切り走り回り、気持ちの良い時間を過ごすことができました。

学期末の慌ただしい中でしたが、みんなで楽しむことができた貴重な1日になったと思います。



「めがね岩」にも上ってみました



「キノコ岩」を背にみんなでハイ・ポーズ!

# 校長室便り

(文責)

ドーハ  
日本人学校校長  
酢谷昌義

きれいに揃うようになってきました

## 今学期の「3つのあ」は？

いよいよ今学期も明日で終わります。学期末になるといつも考えるのですが、「3つのあ」について振り返ってみたいと思います。

第2学期に児童生徒数32名となり、さらに学校全体が活気づいてきましたが、「あいさつ」「あせ」「あとかたづけ」については、どれも個人差が目立つようになってきました。

特に「あいさつ」は、元気な声で気持ちの良いあいさつができる子と、そうでない子の差がずいぶんありました。転入生が多かったということもあり、学校や先生・友達とまだ打ち解けていなかったのが原因ではないかと感じていました。バスを降りたときに「おはよう」と声をかけても、なかなか返事が返ってこないことがしばしば続きましたが、徐々にあいさつの声も大きくなってきて、今では1年生もみんなあいさつができるようになりました。

しかし、気持ちの良いあいさつにはまだもう少し努力が

必要だと感じます。自分から先にできるようにすること、相手をきちんと見てすること、できるだけ笑顔でなど、身につけてほしいことはいろいろあります。引き続き「あいさつ」の大切さについて、しっかりとはたらきかけていきたいと思っています。

2つめの「あせ」は、これまでもずっとドーハ日本人学校の子供たちは頑張っていました。どんなことにも全力で取り組もうという意味の「あせ」ですが、今学期も同じようにとても良かったと思います。大きな行事はもちろん、普段の掃除や中間休みのマラソンなど、本当によく頑張っていました。こういう取り組みを、これからもずっと続けていってほしいと思います。

最後の「あとかたづけ」ですが、今までに比べ良くなったところは「くつ箱の整とん」です。くつはずいぶんきれいに整とんされるようになってきました。「席を立つときには必ずイスを入れる」という

ことも呼びかけていますが、どちらかと言えば、学年が下がるほどきちんとできているかもしれません。

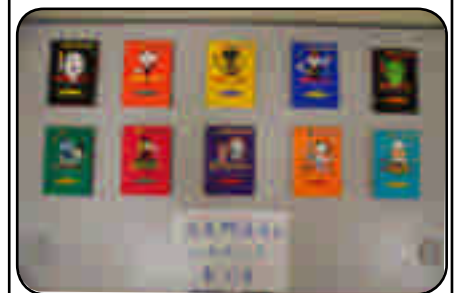
「3つのあ」については、これからもずっと言い続けたいと思います。その際、学級での指導と同じように、1人1人ができるようになったこと良くなったところを、しっかり認め励ましていけるように気をつけたいと思っています。

### 学校訪問にあわせ 本をいただきました

昨日、出光興産人事部の方が学校を訪問されました。その際子ども達へと本を持ってきてくださいました。怪談レストランシリーズの①巻～⑩巻をいただきました。

これでまた、子ども達が喜びそうな本が増えました。本当にありがとうございました。

また校舎内も見学され、子ども達の作品や掲示物をずいぶん誉めてくださいました。子ども達の頑張りが認められたようで、私も大変嬉しく感じました。



いただいた本「怪談レストラン」



朝のあいさつはいつも気持ちよく



みんな頑張って走っています

# 校長室便り

(文責)

ドーハ  
日本人学校校長  
酢谷昌義

毎週1回「全校昼食」の時間

## 実り多い「第2学期」終了!

今日で無事に第2学期が終了しました。9月14日に始業式をして以来、子ども達は今学期もいろいろなことに挑戦してきました。

まず最初が「夏休み研究・体験発表会」でした。小学部1年生から中学部3年生までの全員が、夏休み中に取り組んだことをまとめ、立派に発表していました。今思うと、つい昨日のこのように思い出されます。その後も、参観日の「ミニミニ音楽会」をはじめ、いろいろな場で発表する機会がありました。

その中で最も大きなものは、何といっても学習発表会です。今年も全員が5つの出番をこなし、子ども達は本当によく頑張ったと思います。小規模校の良さは、誰にも発表の機会が与えられること、そしてその回数にも恵まれていることです。それぞれの機会をどう活用するかは、子ども達が確かな力を身につけていく上で、とても重要なことだと考えています。



1人1人が活躍した「学習発表会」

人の前に立つことで、相手や場面を意識できるようになったり、集団内での自分の立場を自覚できたりするようになれば、本当に素晴らしいことだと思います。そのためにも、今後の行事も大切にしていきたいと思います。

今学期大きく変わった点として、遊びの種類と時々に応じて変化する子ども達の集団があげられます。これは児童生徒数が増えたからこそその変化で、子ども達にとって本当に良いことだと感じています。鉄棒・マットを購入し、器械運動に親しむ子どもがずいぶん増えました。サッカーやドッジボールも盛んになりました。いろいろな経験をすることができるようになり、体力・運動能力の面でも効果が期待できます。

また、縦の人間関係のつながりの良さを残しつつ、横のつながりも深まってきました。こうした新しい良さを、今後さらに活かしていきたいと思っています。



みんなで遊ぶ良さも残っています

### ハザール先生が赤ちゃんと!

先日ハザール先生が、赤ちゃんを連れて学校へ来てくださいました。ちょうどお弁当の時間でしたが、赤ちゃんと一緒に各教室を回り子ども達に声をかけてくださいました。お母さんも一緒に、子ども達にチョコレートを配ってくださいました。

翌日にはシリアに帰られましたが、母子ともに健康で、早くまた子ども達の前に明るく元気な姿を見せてくださることを期待し、お待ちしております。



### 保護者の皆様

今学期もいろいろな面でご支援ご協力いただき、ありがとうございました。お陰様で、無事に終業式を終えることができました。

来学期も数名転入児童が見込まれています。ますます充実した教育活動ができるよう、職員一同頑張ってお参ります。今後ともよろしくお願いいたします。

ご家族皆様元気で、良い年をお迎えください。